

武器見本市を粉碎しよう!

米日帝国主義による中国侵略戦争
阻止! 日米安保粉碎・米軍基地撤去!



武器見本市 当日!
会場に怒りの声を!

5・21 幕張メッセ包囲デモ

5月21日～23日、幕張メッセで「DSEI JAPAN 2025」(防衛・セキュリティ総合展示会)が行われます。これは世界の軍事企業(「死の商人」)が450社も出展する「武器見本市」であり、日本では過去最大規模です。

後援団体には防衛省・自衛隊、経済産業省、外務省などが名を連ね、事実上、防衛省・自衛隊を軸とした政府主催の兵器展です。日本帝国主義の軍事力・軍事技術を世界に向かって誇示し、軍事企業の育成や世界の軍事企業との売買契約を行う場であり、米日帝国主義による中国侵略戦争に向けた軍事戦略として開催されます。改憲・戦争阻止! 大行進千葉は武器見本市に絶対反対し、抗議のリレーアピールと会場である幕張メッセに対する怒りのデモを行います。労働者学生がともに抗議行動に参加することを呼びかけます!

5月21日(水)

12時30分～

リレーアピール
海浜幕張駅南口広場

13時30分～

幕張メッセに向けて
デモ出発

主催: 改憲・戦争阻止! 大行進千葉

043-202-7820
千葉市中央区要町2-8 D C 会館1 F

米・日・イスラエルは パレスチナ大虐殺やめろ!

防衛省は、武器見本市の開催目的について、「我が国の防衛装備品と高い技術力について広く情報発信することで、諸外国との防衛装備・技術協力を推進する」と言っています。防衛装備品とは武器・兵器そのものです。武器見本市の「各自衛隊ブース」には「陸海空自衛隊の主要装備品を展示する」としています。

「DSEI JAPAN 2025」のホームページには、「日本の国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画に倣って計画・開催される」とあり、安保3文書に基づく日本の軍事戦略そのものとして武器見本市が行われることが強調されています。そして、「日本の防衛・安全保障産業が世界の防衛・安全保障関係者と繋が」るのが武器見本市の目的だと言っています。まさに、日本の軍事企業と世界の軍事企業がつながり、武器をめぐる取引を行うのが武器見本市なのです。自分たちが開発した武器・兵器が労働者人民を大量に殺戮する優れたものだと呼びかけ、売買契約を結ぶ場が武器見本市なのです。実際、自衛隊はパレスチナ大虐殺を行っているイスラエルの軍事企業から攻撃型ドローンなどを購入しています。まさに、人民大虐殺兵器で取引し、金もうけする死の商人たちが集まり、人殺しの兵器の売り買いする場が武器見本市です。こんなもの粉碎しかない!



「ジェノサイドを止めろ！ 政府は全てのイスラエル支援を打ち切れ！」と訴えるデモ（ワシントン・4月5日）

国家戦略として武器見本市が行われるのは、日本帝国主義がアメリカ帝国主義とともに中国侵略戦争に突き進んでいるからです。初めて中国を仮想敵国として行われた昨年2月の日米統合図上演習「キーン・エッジ」では、日本の自衛隊機が中国軍艦への攻撃まで行っていたことが明らかになりました。米軍と自衛隊は、中国を仮想敵国とした軍事演習をくりかえしています。今年3月に行われた日本の防衛大臣とアメリカの国防長官との会合では、中谷防衛大臣が朝鮮半島・東中国海・南中国海という中国の海岸線を一つの戦域とする「ワンシアター（一つの戦域）」構想を伝え、アメリカのヘグセス国防長官が「西太平洋で有事が発生した場合、日本が最前線に立つことになる」と言いました。米日帝国主義による中国侵略戦争は、朝鮮半島から南アジアまでを戦場にした大規模な戦争が想定され、その最前線に日本が立つということが想定されているのです。そして沖縄・南西諸島が中国を攻撃するためのミサイル基地化が進んでいるのです。大没落に直面したアメリカ帝国主義はトランプ関税で米中貿易戦争に突き進み、それが中国侵略戦争へと向かおうとしています。

改憲・戦争阻止！ 大行進千葉は、米日帝国主義による中国侵略戦争に絶対反対です。中国侵略戦争のための日米帝国主義の強盗同盟＝日米安保同盟を粉碎し、日米安保の最大の実体である沖縄米軍基地の撤去を訴えます。中国侵略戦争のための武器見本市に反対し、会場である幕張メッセを包囲する怒りのデモを闘おう!